

# 令和6年子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」 検討会議（第2回）次第

日 時 令和6年2月20日（火）午後3時から5時まで  
開催場所 東京都庁第二本庁舎 10階一般会議室 204

## 1 開会

## 2 議題

- (1) スケジュール等
- (2) 調査項目
- (3) 調査関連事項
- (4) 今後の分析方針
- (5) 子供向け報告書の編集方針

## 3 閉会

### 【配布資料】

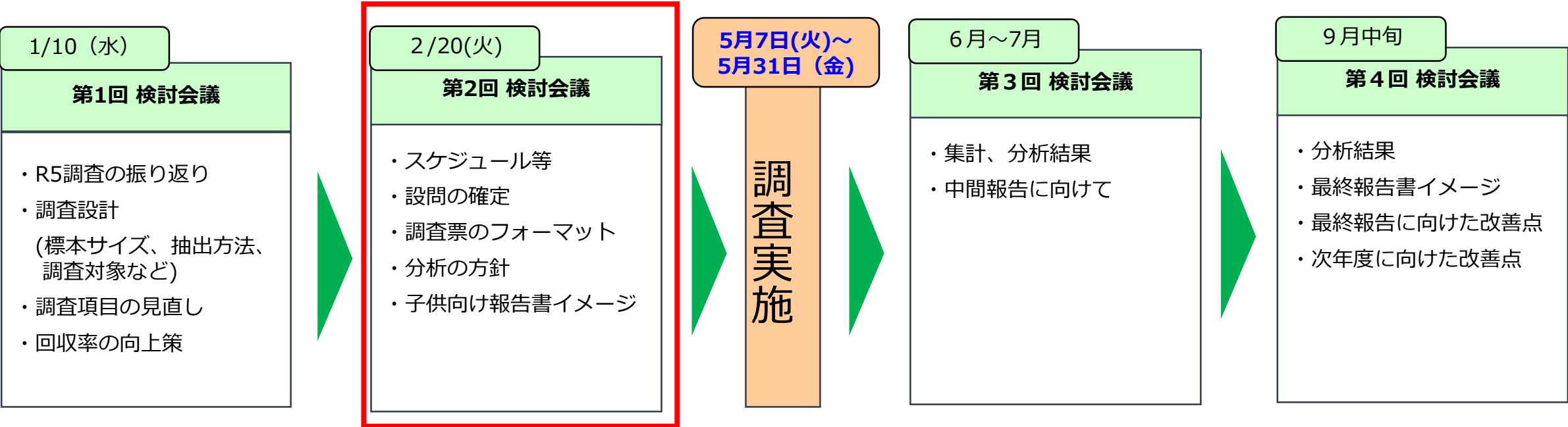
- 資料1 令和6年子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」  
第2回検討会議

# 令和6年子供に関する定点調査 「とうきょう こども アンケート」 第2回検討会議

---

2024年2月20日（火）  
東京都子供政策連携室

# 1. スケジュール等（会議のスケジュール）



# 1. スケジュール等（「未来の東京」戦略・こども未来アクション）

## ■「未来の東京」戦略 version up 2024（2024年1月）

- ・ポストコロナを迎えた今、我が国が先送りしてきた課題に挑み、東京のポテンシャルを最大限活かすことで、持続可能な未来への歩みを加速させるための戦略



- ・「子供の笑顔のための戦略」の政策指標として、本調査結果を活用し、「毎日たくさん笑っている」「自分の行動で社会を変えられる」を設定

## ■「こども未来アクション2024」（2024年2月）

- ・子供目線で捉え直した政策の現在地と、子供との対話を通じた継続的なバージョンアップの指針として策定



- ・子供の意識や実態を示すエビデンス資料として、本調査結果を掲載



# 1. スケジュール等（調査スケジュール）

	2月		3月			4月			5月			6月			7月			8月		
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
検討会議		② 2/20													③ 予定					
子供の意見聴取	★2/13 出前授業 (調査内容・回答率向上など)																			★8月下旬 個別インタビュー (子供向け報告書)
調査票等作成			★3/8 調査設問確定			郵送調査票・同封物作成			Webフォーム作成											
アンケート									回答期間 5/7(火)- 5/31(金)											
																				★5/22 督促状発送
集計・分析															データクリーニング・集計					
報告書作成															中間報告書作成			★8月中 中間報告 庁内展開		

- ・10月下旬 最終報告書確定
- ・11月上旬 プレス発表

## 2. 調査項目(第1回検討会議からの変更点)

### <子供> 変更①

No.	変更前 (前回提示)	御意見	対応案
20	あなたは学校（通信制や定時制を含む）に所属していますか。 1 学校に所属している 2 <b>就職</b> している 3 その他	学校に所属せずアルバイトのみしている子や不登校の子等が回答に迷う	<b>設問・選択肢を修正</b> ・・・学校に所属または <b>就労（アルバイトを含む）</b> していますか。 <b>学校に所属しながら就労している場合は「1」を選択</b> ・・・学校には通信制・・・を含み、 <b>実際に登校している頻度は問いません。</b> 1 学校に所属している 2 <b>就労</b> している 3 <b>どちらでもない</b>
22	学校について、不満に感じることはありますか。 1 勉強に関すること （苦手な教科がある、授業がつまらない等） 2 苦手な先生がいる など	・教師の対応に悩む子供が多い ・経済的なことも調査できるとよい	御意見や施策反映に繋げる観点から、 <b>選択肢を修正・追加</b> 1 <b>授業が簡単すぎる</b> 2 <b>授業が難しい</b> 3 <b>先生の指導力や対応・態度</b> 9 <b>学校にかかる費用（学費や給食費、授業・部活で使う道具等）が高い</b> など
28	あなたは、次のそれぞれについてどう思いますか。 1 「主に男性が担うべき」 2 「主に女性が担うべき」 3 「男女で <b>同じようにするべき</b> 」 4 「分からない」 から選択 A 家事 B 育児 C 仕事 D 介護	・仕事・介護は一般論と誤解する可能性あり ・現代の感覚では、家事は得意な方がやるのが合理的	<b>設問・選択肢を修正</b> あなたは、 <b>家庭における男女の役割</b> についてどう思いますか。 3 「男女で <b>同じように担うべき</b> 」
31	Q30で「保護者は私の話を聞いてくれる」 <b>があてはまらないのは、なぜだと思いますか。</b> 1 親が忙しく、自分と話す時間がない 2 親と仲が悪い 3 話しかけてもちゃんと聞いてくれない など	親と価値観が合わないという内容の選択肢があるとよい	<b>選択肢を追加</b> 5 <b>親と意見が合わない</b>
37	あなたは過去1年以内に、次のような経験をインターネット上でしたことがありますか。 1 暴言や傷つくことを言われた 2 無視された・仲間外れにされた 3 <b>お金を請求された</b> など	ネット詐欺に遭った等、選択肢を増やすとよい	<b>選択肢を修正</b> 3 <b>ネット詐欺に遭った（金銭や個人情報等を求められた）</b>
40	あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ますか。	部活がある日のみ早く起きる子に対して、聴き方の工夫が必要	<b>設問を修正</b> ※保護者Q39も同様 あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝る <b>ことが多い</b> ですか。

## 2. 調査項目(第1回検討会議からの変更点)

### <子供> 変更②

No.	変更前 (前回提示)	御意見	対応案
41	<p>あなたが次のことをしている時間は、平日（学校や仕事がある日）ではどれくらいありますか。</p> <p>A インターネット空間を閲覧・利用する時間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）</p> <p>B テレビを見る時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的に聴けるとよい</li> <li>・テレビ機器でネットを見る場合はどちらになるのか</li> </ul>	<p>設問を修正（A Bは削除し、まとめて聴く）※保護者Q40も同様</p> <p>あなたが平日（学校や仕事がある日）、<b>テレビやスマホ、パソコン、ゲームなどの画面を見ている時間</b>はどれくらいありますか。<b>学校の授業や仕事で見る時間は除きます。</b></p>
44	<p>あなたは、生成AIを使用していますか。</p> <p>1 よく使用している      2 ときどき使用している</p> <p>3 使用したことはないが、今後使用してみたい</p> <p>4 使用したいと思わない      5 生成AIが何か分からない</p>	<p>ChatGPT等幅が広いが、「生成AI」で子供が理解できるか</p>	<p>注釈を追加</p> <p>あなたは、生成AI（※）を使用していますか。</p> <p>※画像や音声、文章等を学習して、実際に存在するものに似た新しいデータをつくりだす人工知能のこと。ChatGPT・・・など。</p>
45	<p>あなたは以下のことについてどう思いますか。</p> <p>C 性的指向(好きになる性)は必ずしも異性である必要はない</p> <p>D 性自認(心の性)及び性的指向に関することを人から打ち明けられたら、否定せずに受け止められると思う など</p>	<p>庁内の関係部署に確認したところ、修正意見あり</p>	<p>設問・選択肢を修正</p> <p>あなたは以下の言葉についてどれくらい知っていますか。</p> <p>※1 「どのようなものか知っている」</p> <p>2 「言葉だけ聞いたことがある」 3 「全く知らない」 から選択</p> <p>A 性自認      B 性的指向      C LGBTQ</p>

### <保護者> 変更

No.	変更前 (前回提示)	御意見	対応案
20	<p>ご家庭内での「家事の分担」「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が10になるように記入してください。</p> <p>A あなたの割合（ ）割</p> <p>B 配偶者/パートナーの割合（ ）割</p> <p>C その他（ ）割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他にはどこまで該当するか（ベビーシッター等は含むか）</li> <li>・ヤングケアラーは含まないか</li> </ul>	<p>「C その他」の削除を検討したが、R5と同様とする</p>
22	<p>身近に介護や補助が必要な人はいますか。また、主に介護・補助をされている方はどなたですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近」は主観的な言葉のため、避けた方がよい</li> <li>・「補助」はどこまで含むか</li> </ul>	<p>設問を修正（R5と同様「身近」→「ご家庭内」に戻す）</p> <p>ご家庭内に<b>障害・病気等により、介護や日常生活の補助（食事、入浴等）</b>が必要な方はいますか。また・・・</p>

## 2. 調査項目(第1回検討会議からの変更点)

### <子供・保護者> 削除

設問が多く、回収率に影響するという御意見を踏まえ、見直し

対象	No.	変更内容 (赤字削除)	削除の理由
子供	16	<p>あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。(それぞれ1つ)</p> <p>A 学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ</p> <p>B 学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい</p> <p>C 進学のための勉強以外で学びたいことがある</p> <p>D 学ぶことが楽しい</p> <p>E 良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない</p> <p>F みんなが学んでいるので、仕方なく学んでいる</p>	<p>E : 将来のために学ぶという点がAと類似</p> <p>F : <u>Dの「楽しくない」の回答で把握可能</u></p>
	23	<p>あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。(それぞれ1つ)</p> <p>A 毎日たくさん笑っている                      B 今の自分は幸せだ</p> <p>C 今の自分の生活に満足している              D 今の自分が好きだ</p> <p>E 人生を楽しんでいる                              F 自分は他人から必要とされている</p> <p>G 自分には夢や希望がある                        H 子育てを楽しんでいる</p> <p>I 子育てはおおむねうまくいっていると感じる</p>	<p>I : Hと類似</p> <p>保護者Q26 (子育てを楽しんでいる理由) に繋がるHをいやす</p>
保護者	-	<p>子育てをする上で大変だと感じる点は何ですか。(いくつでも)</p> <p>1 子供と過ごす時間がない                      2 子供との関わり方が分からない</p> <p>3 子育ての仕方が分からない                    4 子供が反抗期である</p> <p>5 自分の自由な時間がない                        6 子供に病気や障害がある</p> <p>7 1人で子育てをしている                        8 生活が困窮している</p> <p>9 元々子供が好きではない</p>	<p>保護者Q27 (子育ての悩み) と重複する内容があるため、<u>本設問自体をとりやめ</u></p>
	27	<p>子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。(それぞれ1つ)</p> <p>A 子育てや教育の費用                              B 子育ての相談相手の不足</p> <p>C 子供の健康や発達・発育                        D 子供の成績や学力</p> <p>E 子供の進学や就職                                F 子供の問題行動</p> <p>G 子育てと仕事や家事の両立                      H <u>配偶者/パートナーとの子育ての分担</u></p>	<p>保護者Q21 (家事・育児の分担に係る満足度) <u>で聴いているため</u></p>



## 2. 調査項目(郵送調査票・Web回答イメージ)

### ■ 郵送調査票

問14 あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。(それぞれ1つずつ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
A 学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ	1	2	3	4
B 学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい	1	2	3	4
C 進学のための勉強以外で学びたいことがある	1	2	3	4
D 学ぶことが楽しい	1	2	3	4

対象学年が習っていない漢字にルビ  
(図は小学3年生の子供用)

### ■ Webフォーム

・パソコン

Q14 あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。(それぞれ1つずつ)

	→	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ	→	●	●	●	●
学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい	→	●	●	●	●
進学のための勉強以外で学びたいことがある	→	●	●	●	●
学ぶことが楽しい	→	●	●	●	●

・スマホ

Q14 あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。(それぞれ1つずつ)

	→	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ	→	●	●	●	●
学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい	→	●	●	●	●
進学のための勉強以外で学びたいことがある	→	●	●	●	●
学ぶことが楽しい	→	●	●	●	●

### 【前回調査からの改善点(案)】

- ・マトリクス設問について、回答の際に段ズレが生じないように、1行おきに色付け
- ・Webフォームにおける条件分岐する（特定の選択肢を選んだ場合に次の設問を回答）設問について
  - 回答**必要**になる設問：「問○で1～5と答えた方にお聞きします。」の文を表示させず、設問本文のみ表記
  - 回答**不要**になる設問：自動スキップし、設問自体を表示させない
- ・郵送調査票の設問ページ内空きスペースに、やわらかい印象を与えるため、イラストを掲載

### 3. 調査関連事項


#### ■ 発送用封筒 ※右図

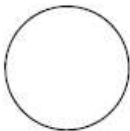
- ・表面に学年別にWeb回答にリンクするQRコードを記載
- ・「回答すれば謝礼がある」旨、**回答を促す文言**を記載
- ・やわらかい印象を与えるため、イラストを掲載

#### ■ 同封物

- ・挨拶状…両面 1 枚
- ・令和5年調査結果の概要ペーパー(子供向け) …両面 1 枚
- ・東京都こども基本条例ハンドブック
- ・回答にすぐ使用できるボールペン
- ・開封及び回答に誘導するための粗品(除菌ウェットティッシュ) ※下図



 東京都





111-0000  
東京都中央区XX町1-1-1

山田 太郎 様  
保護者 様

東京都 から

**「とうきょう こども アンケート」**  
～みんなと考える「いま」と「みらい」～  
ご協力をお願いします。



 ご回答いただいたお子様を対象に、  
〇〇〇(500 円分)を後日お送りします。 

---


<保護者のみなさまへ>  
東京都の子供政策に関する調査です。お子様と保護者様でアンケートが異なりますので、それぞれご回答ください。  
今後の施策に関わる重要な調査となりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

---

Web でもご回答いただけます。  
※ご回答にあたっては、同封のアンケート用紙に記載されているIDとパスワードの入力が必要です。

〈お子様〉 https:xxxxxxxxxxxxxxx		〈保護者様〉 https:xxxxxxxxxxxxxxx	
--------------------------------	---	---------------------------------	---

**回答締切日: 2024 年 5 月 31 日(金) ※消印有効**

【調査主体】 東京都子供政策連携室 

【お問合せ先・調査票返送先】 ※ご不明な点がございましたら、下記へお気軽にお問合せください。  
「とうきょう こども アンケート」事務局  
〒130-0022 東京都墨田区江東橋4-26-5  
電話番号: 0120-xxx-xxx (受付時間: 平日10時~18時) メールアドレス: xxxxxxxx@nrc.co.jp

※本調査事業は、東京都子供政策連携室より、株式会社日本リサーチセンターに委託しております。

9

### 3. 調査関連事項

#### ■謝礼

- ・回答した子供に対し、「500円の図書カード/Amazonギフトカード」を送付

【小3・小5】 図書カード

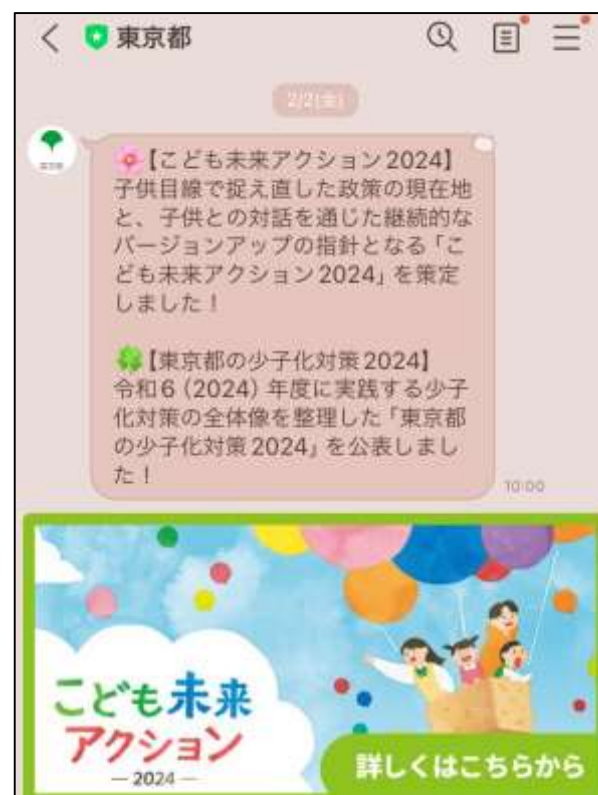
【中2・17歳】 Amazonギフトカード

→ 前回調査では子供の回収率が低かったこと、様々な家庭環境があること等を鑑み、子供を対象に配布

→ 効果を検証し、次回調査の検討に活用

#### ■その他(案)

- ・調査期間中に督促状を送付
- ・東京都の広報媒体（Xなど）を活用し、事前に調査実施を周知

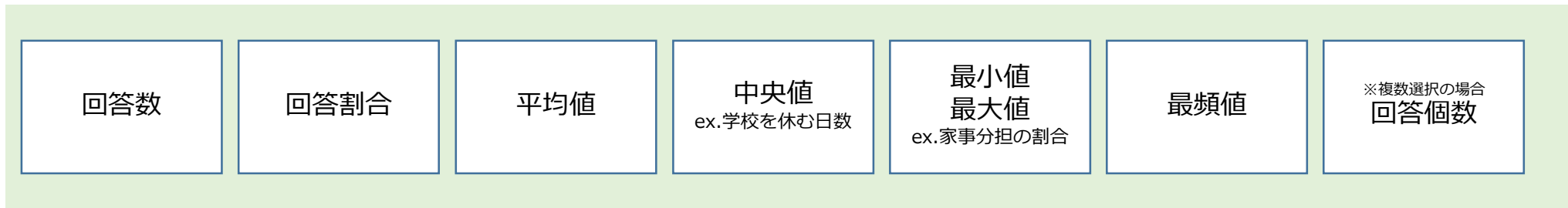


# 4. 今後の分析方針

## ■ 集計 (案)

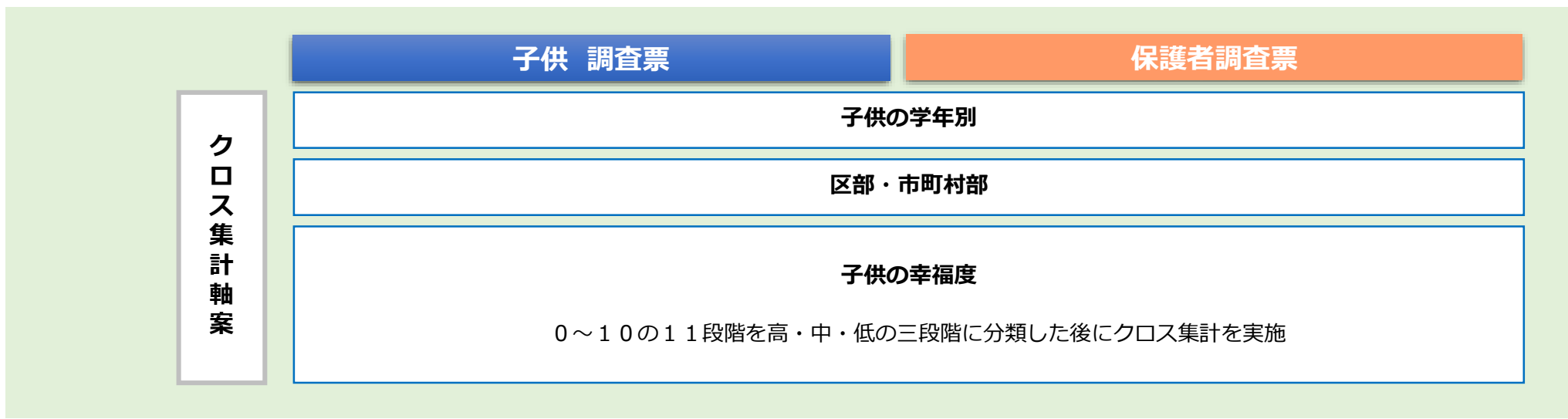
### ① 単純集計

下記項目を算出



### ② クロス集計(共通)

全設問に対し、下記記載の集計軸にて行うことにより子供・保護者の意識や実態を把握

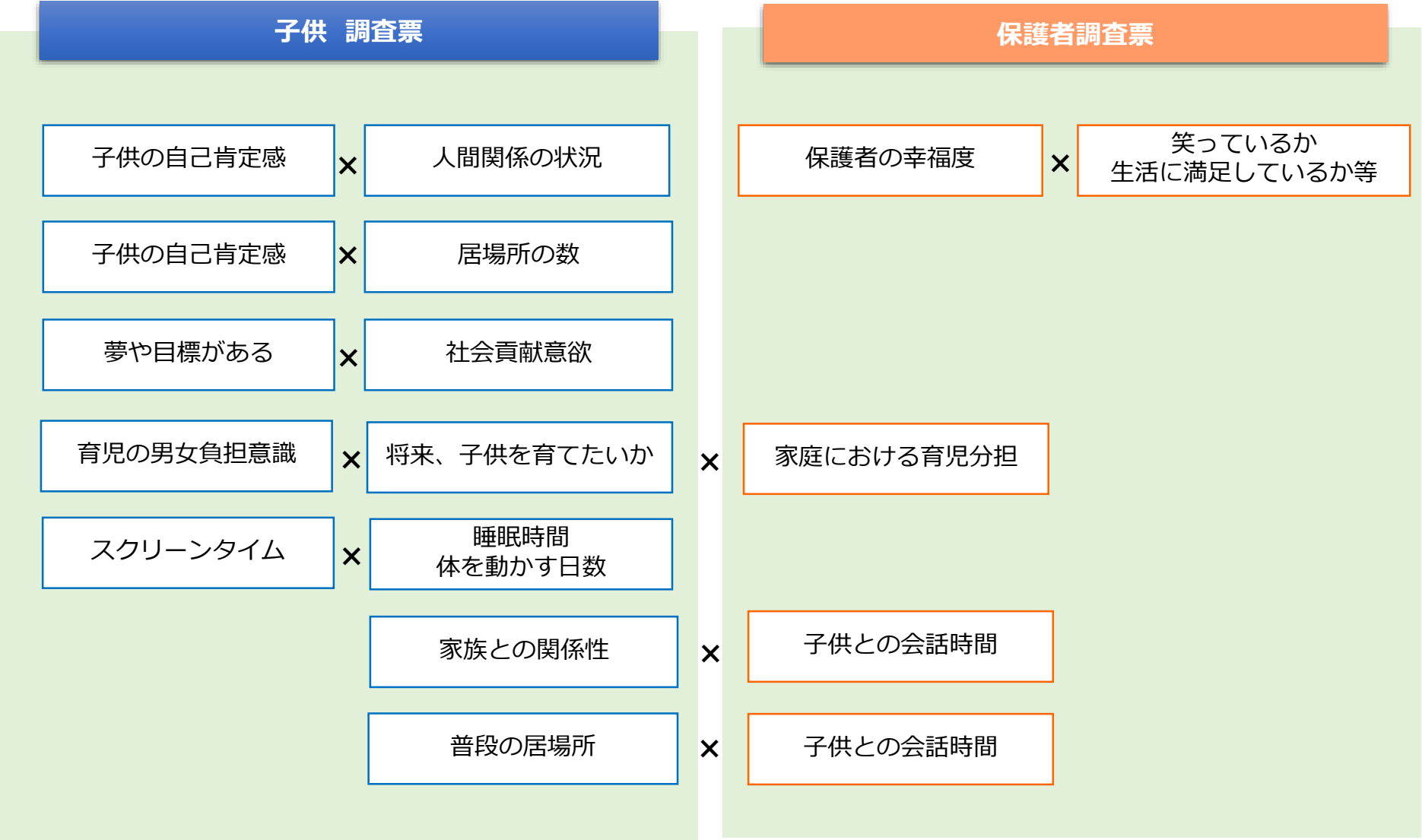


中間報告で掲載

# 4. 今後の分析方針

## ③クロス集計(個別)

選定した項目において、個別でクロス集計を実施（以下はイメージ。具体の項目については、別途検討）



最終報告で掲載

# 4. 今後の分析方針

## ■ 分析（案）

### ギャップ分析（子供・保護者）

子供・保護者間での認識の違いを分析

- 将来展望
- 進学希望
- 家族間でのコミュニケーション
- 生活の満足度
- など

#### ▼【参考(R5調査結果)】「進学希望」の子供・保護者間比較

「大学まで」と回答した割合は、全学年で保護者の方が高い

		調査数	(共通)お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか					
			中学まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学まで	大学院まで	まだ分からない
全体	保護者	100.0	0.2	3.0	5.2	72.1	6.3	11.5
	子供	100.0	1.5	9.4	5.3	45.5	6.0	31.0
	差		-1.3	-6.4	-0.1	26.6	0.3	-19.5
小3	保護者	100.0	0.4	2.5	4.4	72.9	4.8	13.7
	子供	100.0	2.5	9.7	3.4	32.1	7.1	42.9
	差		-2.1	-7.2	1.0	40.8	-2.3	-29.2
小5	保護者	100.0	0.2	2.1	6.8	71.3	7.2	10.7
	子供	100.0	1.9	14.0	7.3	33.0	3.8	38.1
	差		-1.7	-11.9	-0.5	38.3	3.4	-27.4
中2	保護者	100.0	0.2	4.1	4.5	73.4	4.5	11.0
	子供	100.0	0.8	5.7	5.5	58.4	5.3	24.1
	差		-0.6	-1.6	-1.0	15.0	-0.8	-13.1
17歳	保護者	100.0	-	4.0	4.6	70.1	10.1	10.4
	子供	100.0	0.3	6.4	4.6	69.2	9.1	10.1
	差		-0.3	-2.4	0.0	0.9	1	0.3

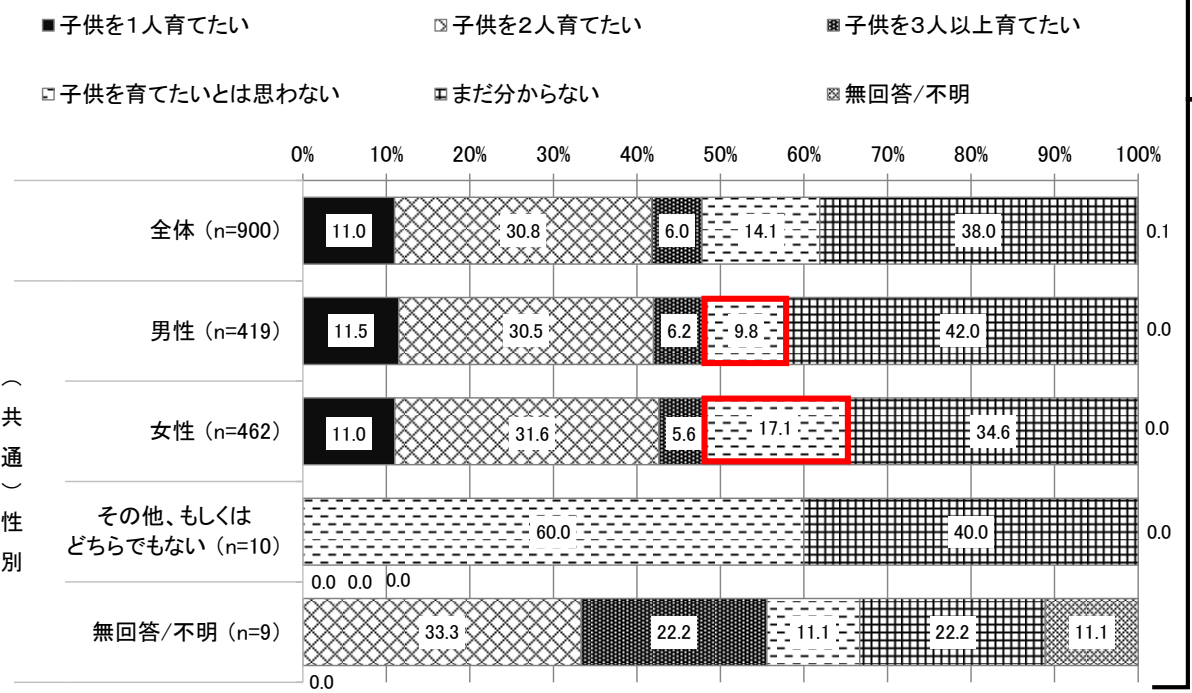
### ギャップ分析（男女）

男女間での違いを分析

- 男女間での家事・育児の分担
- 将来展望
- 子育て希望
- 相談相手
- 遊び場・居場所
- など

#### ▼【参考(R5調査結果)】「将来、子供を育てたいか」の男女比較

「子供を育てたいと思わない」と回答した割合は、男性より女性の方が7.3ポイント高い



最終報告で掲載

# 4. 今後の分析方針

## ■ 分析（案）

### 他調査比較

類似設問がある他調査との比較により、全国・諸外国と比較した東京都の特徴を分析

地域とのつながり

×CHILDREN'S WORLDS REPORT（35か国の8歳、10歳、12歳）

社会課題意欲

×日本財団「18歳意識調査」（日本・アメリカ・中国など6各国の17歳～19歳）

希望する進路

×21世紀出生時縦断調査（全国の中学2年生）

### ▶【参考（R5調査結果）】 社会課題に関する比較（R5調査）

「社会課題に関心がある」割合は諸外国と比較して高いが、  
「社会課題について議論している」割合は低い

	ボランティア活動に参加したい	社会課題について関心がある	社会課題について議論している	自分の行動で社会を変えられる	留学や他国で働きたい
日本	49.7%	50.0%	34.2%	26.9%	41.7%
<b>東京都（本調査）</b>	<b>55.6%</b>	<b>69.3%</b>	<b>39.5%</b>	<b>47.8%</b>	<b>60.2%</b>
アメリカ	70.4%	51.7%	62.1%	58.5%	60.9%
イギリス	64.2%	49.7%	63.9%	50.6%	66.2%
中国	85.3%	66.1%	76.6%	70.9%	66.0%
韓国	70.7%	61.3%	64.5%	61.5%	71.6%
インド	78.1%	46.1%	65.2%	78.9%	70.9%

### 重回帰分析

幸福度等との関係性について分析

幸福度等

×

- ・相互に似通らない（相関性が低い）項目
- ・政策課題や行政ニーズにつながる項目

最終報告で掲載

# 4. 今後の分析方針

## ■ 分析 (案)

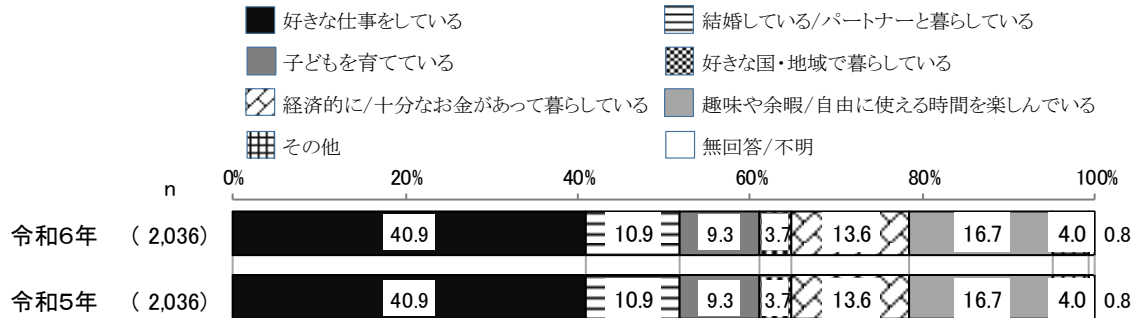
### 経年比較【新規】

R5調査結果と比較し、特異な変化について分析 (以下はイメージ)

#### ① SA (単一回答) 時系列

「好きな仕事をしている」と回答した割合が●%低下した一方で、「子供を育てている」と回答した割合が●%増加した。

図表1 20年後に叶えたいこと<単一回答>

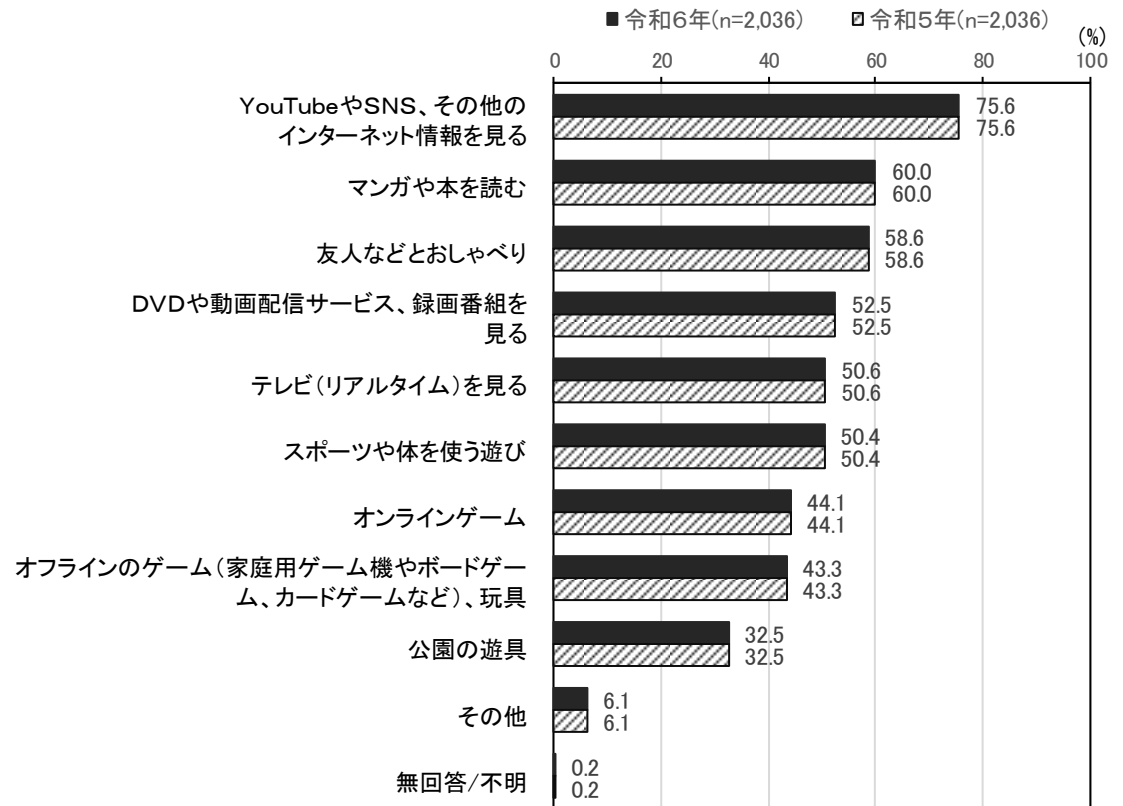


学年別での経年比較も実施する想定であるが、グラフが複雑になることから、レイアウト等を今後検討

#### ② MA (複数回答) 時系列

「テレビを見る」と回答した割合が●%低下した一方で、「YouTubeやSNSを見る」と回答した割合が●%増加した。

図表2 普段遊んでいること<複数回答>



最終報告で掲載



# 4. 今後の分析方針

## ■ 分析内容のイメージ

読みやすさ(文字量)とのバランスも考慮しつつ、明確な特徴を記載

【全体】  
「8」が17.7%であり最も高

- ・選択肢間あるいは幸福度別で大きな差異がある点を言及（今回は概ね5ポイント以上）
- ・「区と市町村のいずれも～」のような差が出ていない記載は省略
- ・差異が無ければ、「区市町村別」や「幸福度別」の項目ごと記載を省略

【学年別】  
3歳、小3、17歳では「8」が最も高く17%以上であり、  
小5では「5」と「8」が、中2では「5」が最も高く、  
15%以上である。  
平均値は、3歳では6.46、小3では6.58、  
小5では6.24、中2では6.48、17歳では6.51である。

【子供の幸福度別】  
「幸福度高（8～10）」では「8」が19.6%であり  
最も高く、「幸福度低（0～3）」の10.9%より  
8.7ポイント高い。

- ・「Aが●%で最も高い」「AはBより●%高い」といった記載が中心  
→「学年が上がるほど～」 「幸福度が高いほど～」といった記載をするか
- ・「東京都として～が課題」といった、更に踏み込んだ考察は別途行う予定

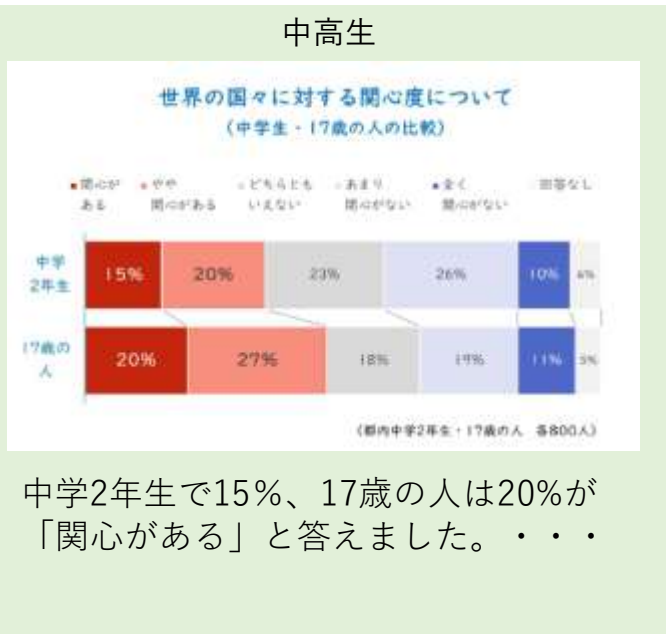
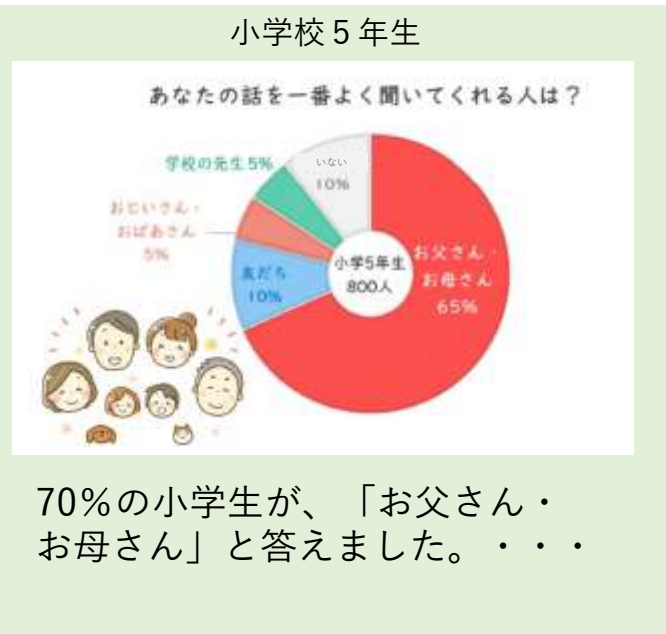


# 5. 子供向け報告書の編集方針

## ■編集方針（案）

- ・3種類(小学校3年生、小学校5年生、中高生)の子供向け報告書を作成
- ・対象年齢に応じてわかりやすい紙面となるよう、以下の点に留意して作成
  - ✓ 興味・関心のある設問・結果に絞りこむ
  - ✓ ページ当たりの情報量を調整する
  - ✓ 漢字や表・グラフなど、学力に合わせて使い分け
  - ✓ 配色・タッチ、文字の大きさ、イラスト等のデザインを使い分け

<イメージ>



・結果の解説に加え、自分だったらどう思うかを問いかけ、結果について考えてもらうきっかけにする

(例)65%の小学生が、「お父さん・お母さん」と答えましたが、「相談できる人がいない」と答えた人も10%いました。**「相談できる人がいない」と答えた人がいたことについて、あなたはどのように考えますか？**